

共生人道支援シンポジウム 学際的調査報告

イラク難民のこころ

ヨルダンにおける心理社会的ケア

攻撃から7年。

イラクの情勢は未だ安定していません。

暴力的な出来事への遭遇、散々になった家族、新しい社会での生活、将来の展望・・・
国を逃れた多くの人びとがこうした不安とともに生活しています。このようななか、
日本のNGOはヨルダンにおいて、かれらのこころを支援する活動を行ってきました。
このシンポジウムでは、イラクの人びとの現状と日本のNGOによる心理社会的ケア
の支援活動を報告します。一方、こころの支援は、成果を測ることが難しい活動です。
パネルディスカッションでは、現場で支援活動に携わった方々と一緒に、その難しさ
への取り組みについて、トークをします。

日時 2010年2月13日(土) 15:00~17:10

会場 JICA 地球ひろば 講堂 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24

ご参加を希望される方は、お名前、ご所属、ご連絡先を記載のうえ、シンポジウム、懇親会の別に
分けて下記までお申し込みください。懇親会の申込は2月5日(金)までお願い申し上げます。

影絵にのせる、イラク、ヨルダンへの思い (SCJ 影絵プロジェクト)

●お申し込み／お問い合わせ先●

村本綾子 大阪大学人間科学研究科グローバル人間学専攻 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2
Tel & Fax : 06-6879-8064 Email : relief@hus.osaka-u.ac.jp

主催：文部科学省世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業「人道支援に対する地域研究からの国際協力と評価
(共生人道支援研究班)」(研究代表者：中村安秀) 共催：ジャパン・プラットフォーム

イラク難民のこころ：ヨルダンにおける心理社会的ケア

プログラム

司会：折居徳正（日本国際民間協会（NICCO））

あいさつ	石井正子（大阪大学グローバルコラボレーションセンター）
PART I	イラクは今 15:05～15:20
報告①	「イラク難民の現状」 山尾大（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
PART II	日本の NGO による心理社会的ケア 15:20～15:55
報告②	「JPF による心理社会的ケアへの取組み」 早川香苗（ジャパン・プラットフォーム（JPF））
報告③	「仲間と共にーピア・エデュケータープログラムで心のケア」 佐々木恵子（国境なき子どもたち（KnK））
報告④	「表現と受容ー演劇とカウンセリングを通じて」 中川政治（日本国際民間協会（NICCO））
報告⑤	「絵本？影絵？親子の力で心のケア」 林田麻理子（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（SCJ））
	休憩（10分）
PART III	パネルディスカッション 16:05～16:50
パネルディスカッション	「こころの変化をどう測る？ ー心理社会的ケアのアカウンタビリティをめぐって」 齋藤和樹（日本赤十字秋田看護大学） 佐々木恵子 中川政治 早川香苗 林田麻理子 山尾大
	質疑応答 16:50～17:10
	懇親会 17:30～

会場アクセス

東京メトロ日比谷線 広尾駅下車（3番出口）徒歩1分 →
※駐車場はありませんので車でのご来場はできません。



【交通案内】東京メトロ日比谷線 広尾駅下車（3番出口）徒歩1分

<FAX でお申し込みの方は、必要事項をご記入いただき、そのままお送り下さい。>

大阪大学人間科学研究科グローバル人間学専攻 村本綾子宛

FAX 06-6879-8064

ふりがな		出欠	シンポジウム
お名前		○×	懇親会
所属	電話番号		
	e-mail		